



MTH400 ユーザーマニュアル

広帯域ワイヤレス
ハンドヘルド型
トランスミッター



SN: _____

Rev.06 (リファレンス FW 1.30.0A)

日付:2015年5月13日

はじめに

MTH400 は、放送や高い品質が求められる場面向けに設計されたプロフェッショナルワイヤレスマイクです。

MTH400 は、3つのパーツで構成されています。

- **MIC ヘッド**: カーディオイド/ハイパーカーディオイドの極性パターン
- **MIC 本体** : マイク下部を開くと、“ディスプレイ&セットアップ”部(図 1)と背面の“バッテリーホルダー&赤外線”部(図 2)があります。
- **MIC アンテナ**: 強化グラスファイバー製で、電源スイッチ(図 3)があります。



ヘッドの交換

反時計方向に回して外す

MIC 本体をオープン

カバーを回して下にずらすと、セットアップ制御およびバッテリーホルダー&赤外線のエリアが現れます。

プログラマブル LED インジケータ (緑色/赤色) 付きの電源スイッチ

図 3 :
電源スイッチ



図 2 : バッテリーホルダー&赤外線部



図 1 : ディスプレイ&セットアップ



安全に関する説明

- 最初に、以下の安全に関する説明および本マニュアルをお読みください。
- すべての指示および説明に従ってください。
- 本マニュアルを紛失しないでください。
- 雨や水の近くで本製品を使用しないでください。
- ヒーターの近くや高温環境内に本製品を設置しないでください。また、動作温度範囲外で使用しないでください。
- 本製品を開かないでください。資格のあるサービス技術者のみが操作することができます。正常に動作しない場合や、液体や水分や何らかの落下により本製品が破損した場合には点検が必要です。
- 当社の認定または指定の付属品または交換用部品のみをご使用ください。
- 本製品の清掃には液体を使用せず乾いた布のみをご使用ください。
- 本マニュアルの前カバーにあるシリアル番号および購入日付をお知らせください。正規の交換用部品または付属品を当社から入手する際に必要です。
- 交換用部品が必要になった場合には、当社認定品のみをご使用ください。認定部品を使用すると、感電、事故や火災を及ぼす危険があります。
- 本製品上の警告または危険に関するすべてのラベルにご注意ください。

LED インジケータ(電源スイッチ)

マイクの電源スイッチ上の2色(赤&緑)のLEDインジケータについて(図3)

- 無線送信ステータス：電波送信中のときには**緑に点灯**します。(マイクの電源がオンの場合はLEDが**赤く点灯**します。RF送信電力がオンになると緑に点灯します)。
- バッテリーステータス(電池残量)：**緑**：点灯(25%以上)、ゆっくり点滅(25%未満)、速く点滅(12%未満)
- 変調ピーク(作動時)：**赤く点灯**
- PTTステータス：作動時に**赤が点灯**

バッテリー

MTH400は、2個の単3アルカリ電池、ニッケル水素電池、またはリチウム電池で動作します(セットアップで電池の種類を選択してください)。バッテリーステータスは、内部OLEDディスプレイまたは電源スイッチ上のLEDステータス(「LEDインジケータ」セクションを参照)③から確認できます。

電池交換

- マイク本体を開く：反時計方向に回して下部のカバーを外すとバッテリーホルダーがあります。
- 下の電池を取り出し、上の電池のレバーを外します。
- 2番目の電池を下に落として取外します。

注意：電池は常に2本を一度に交換してください。

電源オン

電源スイッチ(図 3)を上(MIC 本体に向かって)ずらして送信をオンにします。前面部にある LED ③ は赤く点灯してから、RF 送信回路がオンになると緑の点灯に変わります(バッテリーが低下していると点滅します)。

セットアップ

MIC 本体を開くと、「ディスプレイ&セットアップ」部分(図 1)が見えます。

- A グラフィックディスプレイ(OLED)
- B チャンネル選択ボタン(<ch>)
- C マイク感度セットアップボタン(<gain>)
- D 3ポジションセレクター(<up>/<down>/<click>)

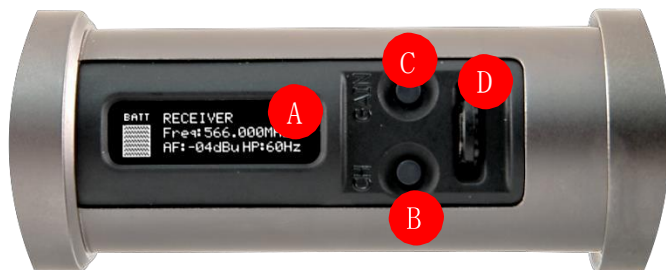


図 4

OLED の電源をオンにする(OLED オフ状態から)

セレクター(<click>)を押すと、グラフィックディスプレイがオンになります。

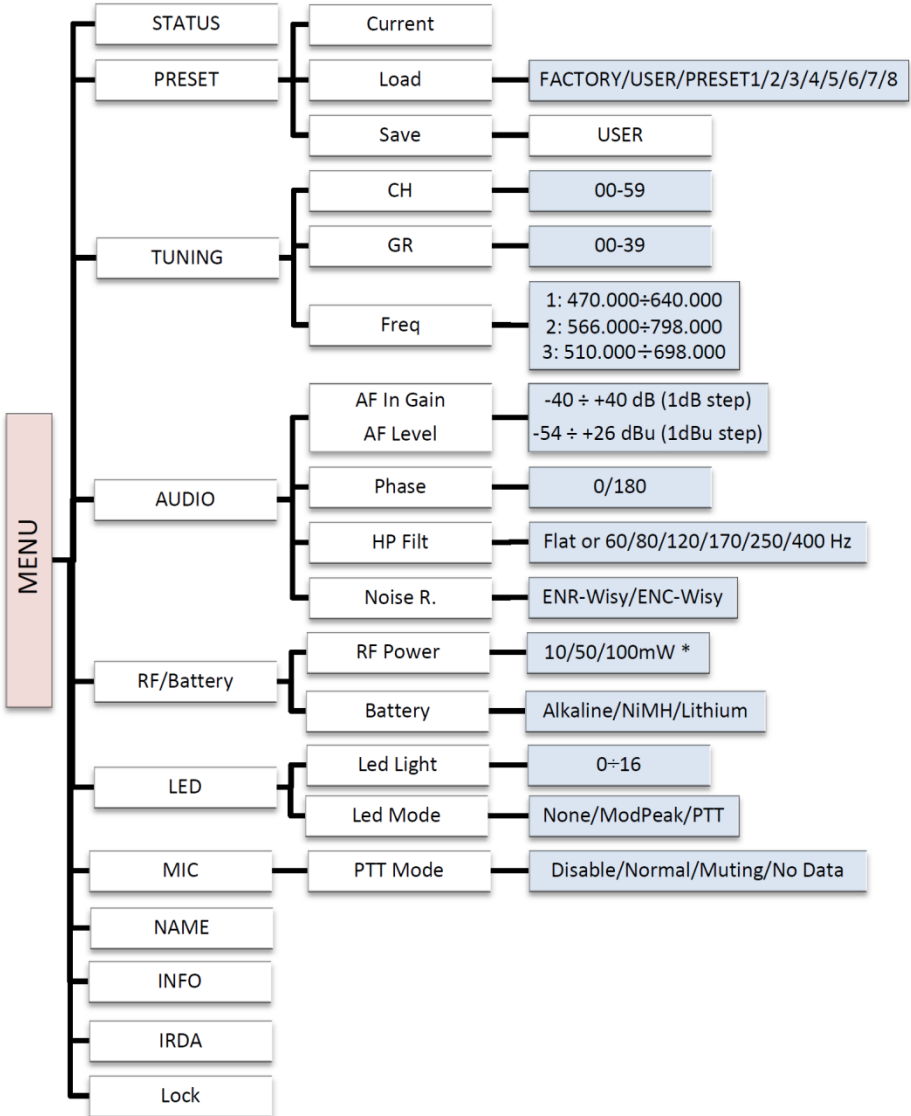
最初に<START UP>メニューが表示された後、自動的に<STATUS>メニューになります。<START UP>メニューをアクティブのままにするには、セレクター(<click>)を2秒以上押し続けます。

OLED の電源をオフにする(OLED オン状態から)

ディスプレイは15秒後に自動的にオフになります。ただし<AUDIO>メニューの場合(音声レベル5%未満)を除きます。

ディスプレイメニュー

<up/down>セレクターを使用すると、すべてのメニューに順番にアクセスできます。



Preset parameters

*電力プロファイルに依存します。

<up/down>セレクトターを使用すると、すべてのメニューに順番にアクセスできます。<click>を押すと、編集モードになります(ディスプレイの左側に、<EDIT>と表示され、選択されているパラメーターが点滅します)。



<up/down>でメニューを選択します。
 <click>を押して、内容を確定させます。
 ボタンを押さなかった場合には、EDIT モードは終了し、パラメーターの値は設定前に戻ります。

<START UP>メニュー

このメニュー項目は電源オンの間に数秒間表示されます。

	<p>このメニュー項目は製品に関する情報を表示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 製品 ID (MTH400) - ファームウェアリリース番号(例: 1.30.0A) - 拡張形式による帯域幅 - シリアル番号 <p>このメニューの表示を維持するには、セレクトターを押したままにします。</p>
--	---

<STATUS>メニュー

電源が入ると最初に表示されるメニューです。

	<p>以下の主要情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 現在のチャンネル/グループ (例: CH:03 GR:03)またはマイクがレシーバーと同期されている場合にはレシーバーの名前(例: RECEIVER) - 現在の周波数(例: 610 MHz) - マイク感度(例: -03 dB)およびハイパスフィルター(例: 60 Hz) - RF10、RF 50 または RF 100 と右上に表示されている場合には、送信出力はそれぞれ 10 mW、50 mW または 100 mW になっています (<RF/BATTERY>メニューを参照)。 - 左側にはバッテリー量が表示されます。
--	---

<PRESET>メニュー

このメニューはスクロールセレクトターで選択できます。

	<p>MTP41: プリセットの構成を呼び出すことができます。 <FACTORY>: 工場出荷時の設定を呼び出します。 <USER>: ユーザーの設定を呼び出します(トランスミッターの構成は、サブメニューの<save to>を使用すると<USER>にコピーできます)。 <USER>メニューはデフォルトでは固定されていないので、これが、設定項目の解除を行う手っ取り早い方法です。 (周波数を低くするために)PRESET のパラメーターを変更する場合、保存コマンドが実行されるまで右上隅にアスタリスクが表示されます。</p>
--	---

残りの 8 つのプリセットは、赤外線および PC インタフェース(プログラマーUPK 300/UPKMini またはレシーバーMRK950/MRK960)からプログラミングできます。

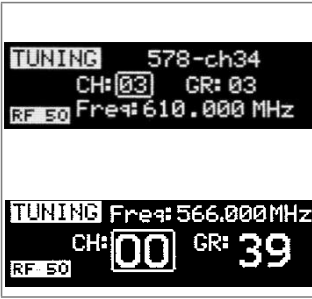
本製品には、一部、特定のマイクロホンやアプリケーション用の構成のプリセットがあります(プリセットは TX マネージャーからいつでも変更できます)。

すべてのパラメーターを“未変更のまま”、“変更”または“変更してロック”を行うことができます。これにより MTH41 構成を事前にプログラムする方法が非常に柔軟になっています。



<TUNING>メニュー

このメニューは、スクロールセクターまたは**クイックチャンネルセットアップボタン(<ch>)**で選択できます。



このメニューでは、チャンネル/グループおよび周波数を設定できます。

グループ名はディスプレイの上部右側に表示されます。

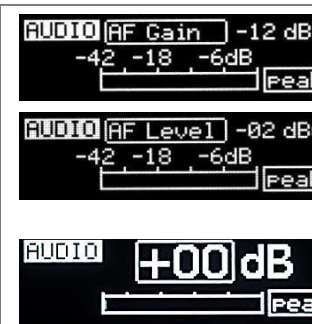
SYNC グループは、レシーバーによって同期されているクイックセルフ設定が可能なチャンネルです(ディスプレイの上部右側には、SYNC グループで同期されたレシーバーの名前が表示されます)。

セクター(<+/->)を使用して値を変更し、<click>で確定させます。

クイックチャンネルセットアップボタン(<CH>)を使用すると、チューニングメニューに素早く進めます。このメニューは表示レイアウトが異なるのでご注意ください(横の画像参照)。

<AUDIO>メニュー

このメニューは、スクロールセクターまたは**クイックゲインセットアップボタン(<gain>)**で選択できます。



オーディオ入力の感度は、<AF Gain>(dB)と<AF Level>(dBu)で設定できます。

(最大ピークインジケータで)オーディオピーク(0 dB、公称偏差 40 KHz)までのヘッドルームを示すオーディオバーの表示を使ってオーディオ感度の設定します。

オーディオバー上のピークに達しないよう最大入力信号でゲインを設定します。

バーの最大ピークが-6dB 前後になるように設定してください。

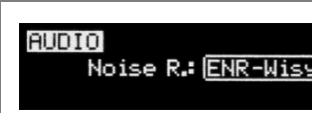
感度のクイックゲインセットアップボタン(<GAIN>)を使用すると、オーディオゲインメニューに素早く進めます。このメニューは表示レイアウトが異なるのでご注意ください(横の画像を参照)。



<AUDIO>メニューの 2 番目の項目から以下の設定ができます。

-オーディオ位相(0°または 180°)

-ハイパスフィルター(Flat、60、80、120、170、250、400 Hz)



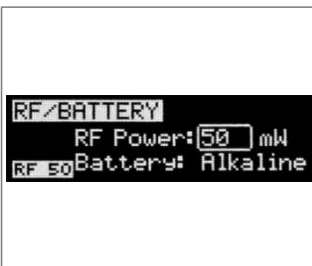
<AUDIO>メニューの 3 番目の項目からノイズリダクションを設定できます。

- **ENR-Wisy:** ノイズリダクション用
- **ENC-Wisy:** 原音忠実再現(特別な音声またはリモート装置で使用)

注：3つのメニュー画面は、セクターで画面を下にスクロールして表示させます。

<RF/BATTERY>メニュー

このメニューは、スクロールセクターで選択できます。



RF 電力は、(電力プロファイルに応じて)10 mW、50 mW または 100 mW に設定できます。

「10 mW」が選択された場合、<STATUS>メニューの上部右側に、「RF10」と表示されます。


「50mW」が選択された場合は、<STATUS>メニューの上部右側に、「RF50」と表示されます。

「100mW」が選択された場合には、<STATUS>メニューの上部右側に、「RF100」と表示されます。

<Battery>タイプは、アルカリ、ニッケル水素またはリチウムを設定できます。


<LED>メニュー

このメニューは、スクロールセクターで選択できます。

	<p>電源スイッチ緑色 LED の明るさは <Led light>で(0 から 16 に)設定できます。</p> <p><Led Mode>設定は電源スイッチ上の LED (図 3 を参照)が、赤点灯するタイミングを定義しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> - None: 無点灯 - ModPeak: 音声ピークが近づくとき - PTT: PTT ボタンが押されたとき
--	---


<MIC>メニュー

このメニューは、スクロールセクターで選択できます。

	<p>4つのPTTモードから選択できます。: Disable、Normal、Muting、No Data</p>
--	--

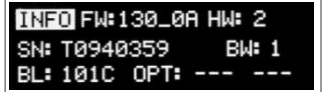
<NAME>メニュー

このメニューは、スクロールセクターで選択できます。

	<p>このメニューでは、設定されている周波数およびトランスミッターの名前を表示することができます。</p> <p><CH>/<GAIN>の両ボタン (B+C) を同時に押しても、このメニューを選択できます。</p>
--	---


<INFO>メニュー

このメニューは、スクロールセクターで選択できます。

	<p>このメニューでは以下の内容を表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - FW バージョン - HW バージョン - シリアル番号 - 帯域幅 - ブートローダーバージョン - オプション
---	---

<IRDA>メニュー

このメニューは、スクロールセクターで選択できます。

	<p>このメニューが表示されている間に、マイクを IRDA に接続するとセットアップまたはファームウェアアップグレードができます。</p> <p><u>注: IRDA インタフェースが使用可能な状態で約 10 秒間通信がなければ自動的にオフされます。</u></p>
--	---

マイクの電源がオンの状態で、IRDA インタフェースは、14 秒間使用可能です。

<LOCK>メニュー

このメニューは、スクロールセクターで選択できます。

セクターボタン(<click>)を長押し(2秒)すると、MTH400 が送信モードにロックされます。ロックを解除するには、もう一度セクターボタンを長押しします(2秒)。

<BOOTLOAD>メニュー

トランスミッターをオンにすると同時に、クイックチャンネルセットアップボタン<CH>を押すか、FW 更新用の IR Programmer を使用して IRDA 経由で接続すると、このメニューに入ることができます。

装置は、強制的にブートローダーモードになり、ファームウェアアップデートが可能になります。

以下の表には、設定可能なパラメーターおよび関連の範囲設定をまとめてあります。

メニュー	パラメータ	意味	範囲設定
TUNING	CH	チャンネル	0~59
	GR	グループ	0~39 + 同期グループ
	Freq	周波数	MTH400 のモデルに依存します。 1 470~640 2 566~798 3 510~698
AUDIO	AF Gain AF Level	音声信号のゲイン	1 dB 刻みで-40 dB~+40 dB 1 dBu 刻みで-54 dBu~+26 dBu
	Phase	音声信号の位相	0°または 180°
	HP	ハイパスフ	Flat/60/80/120/170/250/400 Hz
	Noise R.	ノイズリダクション	ENR:Wisycom 拡張 NR、ノイズ最適化 ENC:Wisycom 拡張 NC、音声最適化
RF/BATTERY	RF Power	RF 電力	10 mW または 50 mW または 100 mW (電力プロファイルに応じて)
	Battery	バッテリー	アルカリ、ニッケル水素またはリチウム
LED	Led Light	電源スイッチ 緑色の明るさ	0~16
	Led Mode	電源スイッチ LED (図3を参照)が赤く点灯する場合を定義します。	None: 無点灯 ModPeak: 音声飽和に近づいたとき PTT: PTT ボタンが押されたとき

MIC	PTT Mode	トランスミッターがどの情報をどのようにして送信するかを定義します。	<p>Disable: PTT ボタンを押しても何も起こりません(トランスミッターは、AF+トーンスケルチを送信します)。</p> <p>Normal: PTT ボタンを押すと、トランスミッターは RF 信号を送信します。レシーバーの構成に従い、LINE (または COM あるいはその両方) 上で音声の有効化/無効化ができます。</p> <p>Muting: トランスミッターは音声を送信しません。音声は遮断されてマイクロホンに入力されません。</p> <p>No Data: トランスミッターはトーンスケルチもバッテリーデータも送信しません。</p>
-----	----------	-----------------------------------	---

Wisycom TX Manager (v.1.1.5 以上)の使用方法

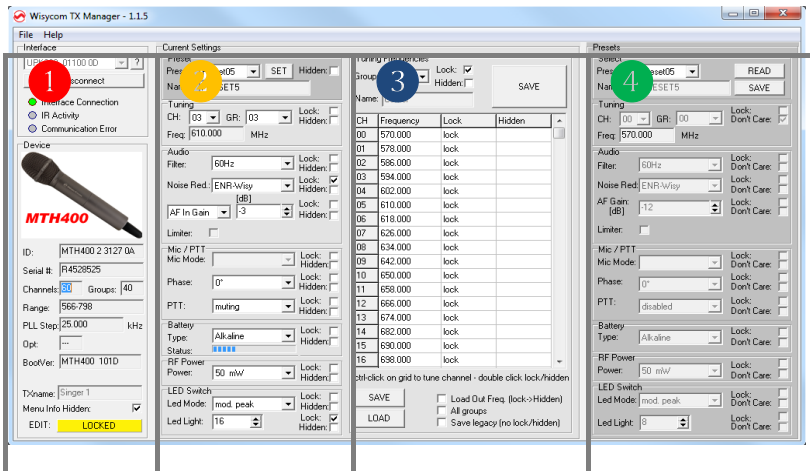
Wisycom TX Manager は Wisycom 社製トランスミッターの構成の読み込み、修正および更新ができます。その際、以下を行います。

- プログラマーUPK300E/UPKMini またはレシーバーMRK950/MRK960 を **USB 接続**で PC に接続する
- Wisycom TX Manager を起動する
- トランスミッター上の IRDA 通信を使用可能にする(<IRDA>メニューを参照)

注 : Wisycom IR Programmer は、MRK950/MRK960 がイーサネットケーブルを使用して PC に接続されている場合には機能しません。

Wisycom IR Programmer のウィンドウは、以下の 4 つに分割されています(下図参照)。

- 1 <Interface>パネルおよび<Device>パネルは、接続されているデバイスの主要な情報をすべて表示します。
- 2 <Current Settings>パネルは、現在の構成内容を表示します。<PRESET>パネルから保存されていた構成内容を選択して現在の設定としてロードできます。
- 3 <Tuning Frequencies>パネルで、グループ、チャンネルおよび周波数を扱うことができます。
- 4 <Presets>パネルで、さまざまな構成のプリセットの読み込み、変更、および保存を行うことができます。



それぞれ異なる 10 の構成項目を使用できます。

- FACTORY の構成項目は固定されており、パラメーターの変更はできません。
- USER の構成項目は、OLED ディスプレイ (<PRESET>メニューを参照)を使用して保存できる唯一の設定です。注：この構成名を変更することはできません。
- 残りの 8 つの構成項目は、名前および全パラメーター値の両方を変更できます。

INTERFACE パネルと DEVICE パネル(1)

プログラムは、はじめにマイクの検出を行い、<Interface>パネル上に表示されます。

マイクを選択し、<connect>ボタンを押して通信を開始します。検出されたマイクの種類を示す<Interface> (プルダウンメニュー) より選択します。「IR アクティビティ」の LED (インジケーター) が点滅し、プログラムがマイクからの接続応答待ちであることを示します。

正常に接続すると、「インタフェースコネクション」の緑色 LED (インジケーター) が点灯しますが、接続エラーの場合は「コミュニケーションエラー」の LED (インジケーター) が点灯します。

サポートされているマイクを検出すると、ソフトウェアは、自動的にリモート構成のデータだけでなく事前プログラミングされている周波数も読み込みます。

不要な操作を避けるため、またパラメーターの変更ができないように、<Device>パネルの一番下にある<EDIT>ボタンは黄色表示となり、**LOCKED** 状態にセットされます。<EDIT>ボタンを押すと、灰色の表示となり、**UNLOCKED** 状態にセットされ、構成修正が可能になります。

このパネルでは、マイクに名前を割り当てることができます但し、(FW v.1.22.0F 以前では利用出来ません)。また、このパラメーターにマイクの情報メニューを非表示にする機能があります。但し、(FW v.1.22.0F 以前では利用出来ません)。

CURRENT SETTINGS パネル (2)

<Current Settings>パネルでは、以下のことができます。

Preset	USER	SET	Hidden: <input type="checkbox"/>
Name:	USER		

- <Preset>パネル → 10 個のプリセットの中から 1 つを呼び出します。
- その他のパネル → すべての設定パラメーター(OLED ディスプレイで変更可能なものと同じ)を修正できます。設定の変更禁止または OLED ディスプレイを非表示にするため、<lock>または<hidden>をクリックして、各パラメーターをロックまたは非表示にできます。

Noise Red.:	ENR-Wispy	Lock: <input type="checkbox"/>	Hidden: <input type="checkbox"/>
-------------	-----------	--------------------------------	----------------------------------

注意：<Current Settings>パネルで行った修正内容はすぐに有効になります

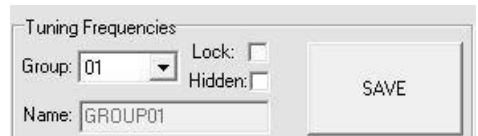
直接、マイクに適用されてメモリに保存されますが、プリセット構成には保存されません。

TUNING FREQUENCIES パネル(3)

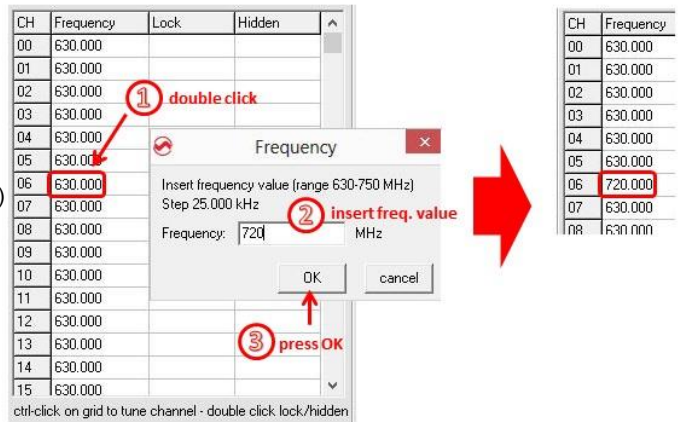
<Tuning Frequencies>パネルから、周波数グループ(0~39)を選択して、それぞれのグループに以下の操作を行うことができます。

- グループ名の修正
- グループのロックまたは非表示、あるいはその両方
- 選択されているグループの各チャンネル(0~59)の周波数および関連のステータス(ロック/非表示)の変更(周波数リストの表の中央部)

パネルの上部にある<SAVE>ボタンで選択したグループに対する変更内容(グループ名、グループのロック/非表示)を保存します。



特定のチャンネルの周波数値を変更するには、周波数パネルのマス(行=チャンネル番号)をダブルクリックし、新規の周波数値を挿入し、<OK>ボタンをクリックします。



CH	Frequency	Lock	Hidden
00	630.000		
01	630.000		
02	630.000	lock	hidden
03	630.000		

double click to LOCK the channel

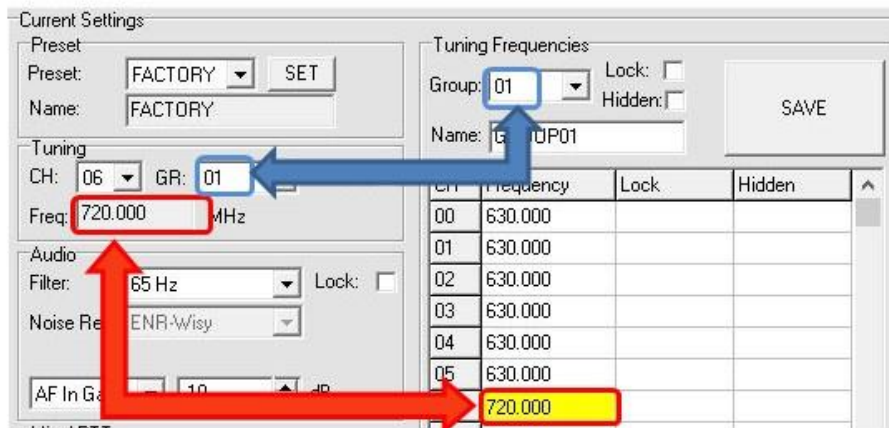
double click to HIDE the channel

注：キーボード上の CTRL ボタンを押し続け、周波数表特定のチャンネルをロック/非表示にするには、周波数パネルのマスをダブルクリックします。

上に表示されている目的のチャンネル/グループをクリックすると、同調プロセスが実行されます。<Current Settings>パネルの<Tuning>を設定しても同じ結果が得られますが、この方法の方が簡単で

す。マイクが直ぐに再同調されるため、周囲で使用中的他機の周波数を変更する間は、必ず電源をオフにしてください

現在同調中のチャンネルが、表上に表示されているグループと同じ場合には、表上の関連のセル(チャンネル)の背景色が、黄色になります。



パネルの下部にある<LOAD>/<SAVE>ボタンを使用すると、選択したグループの周波数を wdf ファイルにロードまたは保存することができます。すべてのグループの周波数を保存するには、上の該当するボタンをクリックします。旧来のオプションでは、非表示/ロック情報は保存できません。



PRESETS パネル(4)

<Presets>パネルから、10個の設定をすべてを管理できます。

FACTORY および USER の構成を除いて、各構成に対して、名前および全パラメーター値を設定することができます(下表参照)。

プリセット	名前*	ロック/無関係	パラメーター値
FACTORY			
USER			√
その他	√	√	√

√=変更可能

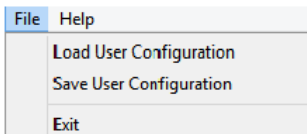
*名前はマイクのメニューの設定リストに表示されるため、プリセットの名前は、分かりやすい名前にするようご注意ください。意味の不明な名前は使用しないでください。

パラメーターがロック状態の場合には、マイクのメニュー(OLED ディスプレイを使用)では修正できません。一方、<don't care>が有効になっている場合には、構成を読み込んでもパラメーターの値は変更されません。

注意：変更内容は保存しないと反映されません。

注：ロック状態のパラメーターをどうしても修正する必要がある場合には、OLED ディスプレイ (<PRESET>メニューを参照)から、その構成を USER に保存した後、その USER の構成をロードします(この方法により、すべてのパラメーターのロックが無効化されるので、パラメーターを修正できるようになります)。

FILE メニュー



パネルの上部左にあるファイルメニューを使用すると、マイクの**全構成**を.wcf ファイル(Wisycom コンフィギュレーションファイル)に**保存**、またはロードすることができます。

.wcf ファイルの保存

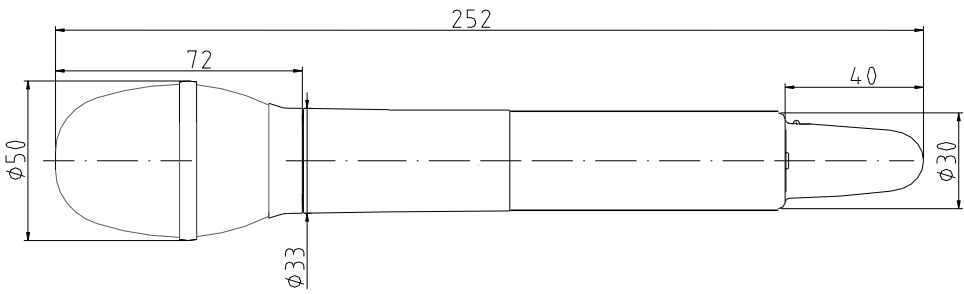
マイクが正しく接続されている状態で、<File> -> <Save User Configuration>を選択して、保存先ファイルを選択します。

.wcf ファイルの読み込み

ユーザー構成を読み込むには、<File> -> <Load User Configuration>を選択して、表示されたフォームから、保存したデータファイルを選択します。この操作により、他のデータはそのままの状態、特定の構成をロードすることができます。

技術仕様

切替可能チャンネル	40 グループの各 60 チャンネルに割り当てられた 2400 チャンネル(特定の周波数範囲内)を専用ボタンで素早く選択
切替幅	最大 232 MHzまで、帯域による(次ページの「別オプション」を参照)
周波数	水晶 PLL 周波数シンセサイザ回路(25 kHz 刻み)
周波数安定度	<ul style="list-style-type: none"> ± 2,5 ppm (定格温度範囲内)
温度範囲	-10~+55°C
最大 RF 電力	<ul style="list-style-type: none"> 10 mW (ERP) (現地基準に準拠) 50 mW (ERP) (注: 現地基準に準拠するため中間電力を使用不可にできません) 100 mW (ERP) (注: 現地基準に準拠するため大電力を使用不可にできません)
スプリアス放射	2 nW 未満
変調	プリアンファシス付き広帯域 FM
公称偏差	±40 kHz (ピーク偏差= ±56 kHz)
テレメトリ機能	MTH400 は、以下に適したデジタル変調副搬送波も送信 <ul style="list-style-type: none"> トランスケルチ動作 リモートバッテリー監視 オプション PTT(プッシュ-トーク)動作
AF 入力接続	取替可能なマイクロホンヘッド
AF 入力レベル	60 dB、ただしピーク偏差 (1 kHz)で、-54~+6 dBu の範囲で 1 dB 刻みで調節可能
最大入力レベル	+26 dBu
最大音圧	MCM301/MCM302/MCM303/MCM304/MCM305 コンデンサヘッド付きで、150 dB SPL (0,5% THD)
ノイズリダクション	独立したアタックタイムと回復タイムを持ち、ノイズ最適化された ENR (Wisycom 拡張-NR) 独立したアタックタイムと回復タイムを持ち、音声最適化され、軽減プリアンファシスを持つ ENC (Wisycom 拡張-NC)
AF 帯域幅	45 Hz~21 KHz (3 dB) 55 Hz~20 KHz (1 dB)
ひずみ	0.3 %未満(普通、0.15 %)
信号対雑音比	普通、偏差 40 kHz の 115 dB (A) rms 普通、偏差 56kHz の 121 dB (A) rms マイク電源スイッチ上の 2 色 (赤&緑) の LED インジケータの表示は以下のとおり <ul style="list-style-type: none"> 無線送信ステータス: 緑点滅 変調ピーク(作動時): 赤点滅 バッテリー寿命ステータス: 緑点灯
LED	-安定(25%超) -ゆっくり点滅(25%未満) -速く点滅(12%未満) •PTT ステータス: 作動時赤点灯
ディスプレイ	高コントラスト OLED (有機発光ダイオード)ディスプレイ(96 x 36 ピクセル) 8 段階 バッテリー寿命指示: 7 個のバー(100%-87%-75%-63%-50%-38%-25%)と空白バー高速点滅(残存 12%)
電源装置	2 個の単 3 電池(アルカリ、充電可能ニッケル水素、またはリチウム)
MTH400 バッテリー寿命 (2 個の単 3 アルカリ電池)	<ul style="list-style-type: none"> 約 14 時間、ただし、連続動作 10 mW 約 10 時間、ただし、連続動作 50 mW 約 7 時間、ただし、連続動作 100 mW
寸法	⇒本体: 最大直径 33 mm (マイクロホンヘッドなし) ⇒全長: 183 mm (マイクロホンヘッドなし)
重量	約 300 g、ただしバッテリーおよび MCM3xx (コンデンサ)マイクロホンヘッドを含む (バッテリーを除いた場合 約 260g)



注意：単位は mm

電力プロファイルおよび国別周波数範囲

EU 最大電力 50 mW (ヨーロッパ)

0W1 / EUX 最大電力 100 mW (ヨーロッパ)

US 最大電力 50 mW、ただし 698 MHz に限定(米国とカナダ)

JP 最大電力 10 mW、ただし 714 MHz に限定(日本)

NZ 最大電力 100 mW、502~698 MHz に限定(ニュージーランド)

別オプション

・カラー

PV 本体カラー：チタングレー(セラミック被膜)

BL 本体カラー：ブラック(粉体塗装)

・周波数範囲

B1 470~640 MHz

B2 566~798 MHz

B3 510~698 MHz

商品コードは、当社のウェブサイトの<製品>の<別オプション>エリアをご参照ください

準拠

モデル	準拠基準	最大電力	国名
MTH400 MTH400-EU	EN 301 489-1/-9 EN 600065 EN 300 422-1/-2	50 mW	ヨーロッパ CE
MTH400-0W1 MTH400-EUX	EN 301 489-1/-9 EN 600065 EN 300 422-1/-2 EN 300 454-1/-2	100 mW*	ヨーロッパ CE
MTH400-US	FC PART 74 FCC-ID:POUMTH400 RSS-123, RSS-102 IC:11967A-MTH400	50 mW	米国、カナダ
MTH400-JP	Ⓡ 202-LSC058 714 MHz に限定 マイクの識別マーク は、バッテリー収納 部にあります。	10 mW	日本
MTH400-NZ	EN 300 422-1/-2 EN 300 454-1/-2 範囲	100 mW	ニュージーランド

* MTH400-0W1/MTH400-EUX は、小電力無線ではありません。使用国の周波数管轄当局による認定を必要とします。

注：上記の技術仕様は、MTH400 の送信機部分に適用されます。音響仕様は、使用されているマイククロホンヘッドに適用されます。MTH 400 トランスミッターは、ETSI 300 422 に準拠します。

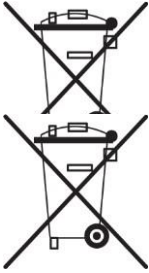


製品のご使用には、自国の法令を遵守してください。

メーカー宣言

以下の要件に準拠しています。

- RoHS 指令(2002/95/EC)



- WEEE 指令(2002/96/EC)

稼働寿命の尽きたダイバーシティトランスミッターは、対応する集積地または再生利用センターで処分してください。

- バッテリー指令(2006/66/EC)

供給バッテリーまたは充電バッテリーは再生利用可能です。特別廃棄物として処分するか、担当の専門代理店に返却してください。環境保護のため、消耗したバッテリーのみを処分してください。

FCC 適合宣言

本製品は FCC 規則のパート 74 に準拠します。動作は以下の 2 条件に従います。

- (1) 有害な干渉を起こさないこと。
- (2) 所定外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、受信したいかなる干渉も受容すること。

準拠の責任者から明示的な承諾を受けずに変更や改造を加えると、ユーザーの装置操作権限を無効にする場合があります。

FCC ID は、バッテリー収納部の近くにありますが(カバーを回して外し下にずらします)。

FCC-ID:POUMTH400

カナダ産業省への準拠声明

原文は英語

本製品は、カナダ産業省の RSS-123 に準拠します。動作は、以下の 2 条件に従います。

(1) 有害な干渉を起こさないこと。(2) 所定外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め受信したいかなる干渉も受容すること。

フランス語

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio RSS-

123.L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

イタリアのみ

Obblighi di informazione agli utilizzatori

ai sensi dell'art.13 del Decreto Legislativo 25 luglio 2005, n. 151 "Attuazione delle Direttive 2002/95/CE, 2002/96/CE e 2003/108/CE, relative alla riduzione dell'uso di sostanze pericolose nelle apparecchiature elettriche ed elettroniche, nonché allo smaltimento dei rifiuti"

Smaltimento di apparecchiature elettriche ed elettroniche di tipo professionale

Il simbolo del cassonetto barrato riportato sull'apparecchiatura o sulla sua confezione indica che il prodotto alla fine della propria vita utile deve essere raccolto separatamente dagli altri rifiuti.

La raccolta differenziata della presente apparecchiatura giunta a fine vita è organizzata e gestita dal produttore. L'utente che vorrà disfarsi della presente apparecchiatura dovrà quindi contattare il produttore e seguire il sistema che questo ha adottato per consentire

la raccolta separata dell'apparecchiatura giunta a fine vita.

L'adeguata raccolta differenziata per l'avvio successivo dell'apparecchiatura dismessa al riciclaggio, al trattamento e allo smaltimento ambientalmente compatibile contribuisce ad evitare possibili effetti negativi sull'ambiente e sulla salute e favorisce il reimpiego e/o riciclo dei materiali di cui è composta l'apparecchiatura.

Lo smaltimento abusivo del prodotto da parte del detentore comporta l'applicazione delle sanzioni amministrative previste dalla normativa vigente.

Smaltimento batterie usate

Questo prodotto può contenere batterie. Questo simbolo apposto sulle batterie significa che non possono essere smaltite insieme a normali rifiuti domestici, bensì devono essere depositate negli appositi punti di raccolta delle batterie.

Inscrizione al Registro A.E.E. n. IT0910000006319



準拠宣言

DICHIARAZIONE DI CONFORMITA' DECLARATION OF CONFORMITY

Il sottoscritto, rappresentante il seguente costruttore
The undersigned, representative of the following manufacturer

WISYCOM S.r.l.
via Spin, 156 - 36060 Romano d'Ezzelino (VI) - Italy

DICHIARA che l'apparecchiatura descritta in appresso:
DECLARES that the product:

Descrizione <i>Description</i>	Handheld transmitter
Modello <i>Model</i>	Mth400

è conforme alle disposizioni legislative che traspongono le seguenti direttive:

- direttiva 2004/108 CE (Direttiva EMC)
- direttiva 2006/95 CE (Direttiva Bassa Tensione)
- direttiva 99/5 CEE (Direttiva Apparecchiature Radio)

is in accordance with the following Directives:

- 2004/108 EC Directive (EMC Directive)
- 2006/95 EC Directive (Low Voltage Directive)
- 99/5 EEC (Radio Equipment Directive)

e che sono state applicate tutte le norme e/o specifiche tecniche di seguito indicate
and that all the following standards have been applied

EN 60065:2002 + A1:2006 + A11:2008 + A2:2010 + A12:2011

EN 301 489-1 V1.9.2

EN 301 489-9 V1.4.1

EN 300 422-2 V1.3.1

Luogo
Place Romano D'Ezzelino

Data
Date 25 July 2012

Firma
Sign
(nome e funzione)
(name and title) Franco Maestrelli
WISYCOM s.r.l.
Franco Maestrelli
Amministratore Unico





WISYCOM[®]

無線システム通信

Via Spin 156 □□ I-36060 Romano d'Ezzelino

□□ Italy 電話 : +39 -0424 -382605

□□ ファックス : +39 - 0424 - 382733

www.wisycom.com

電子メール : sales@wisycom.com

